

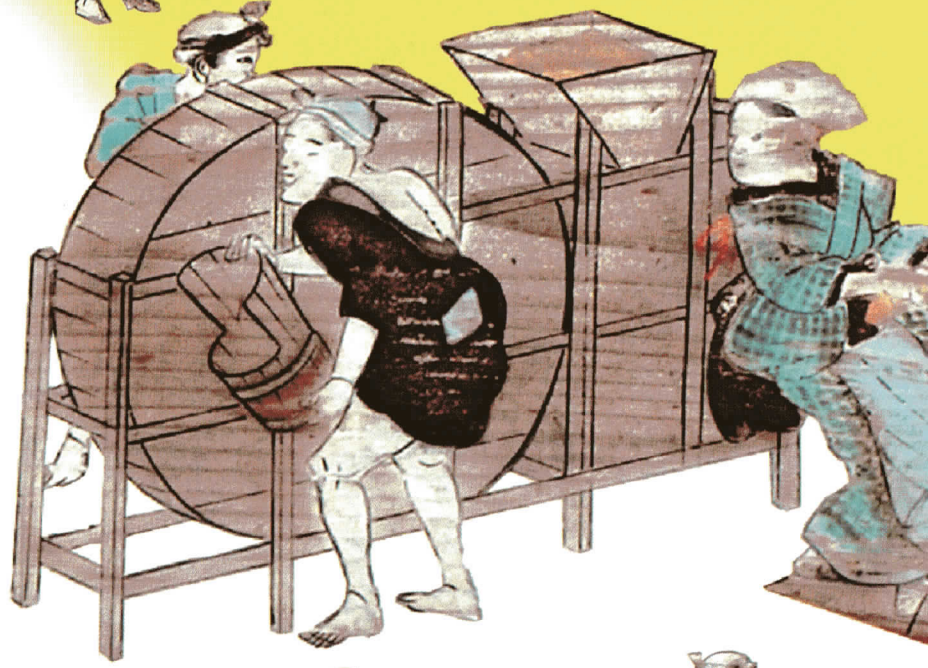


福崎のくらし

平成25年度特別展



く米づくりと人々く



平成25年10月19日(土)~11月24日(日)

開館時間 午前9時~午後4時30分

休館日 月曜日・祝日の翌日

入館料 無料

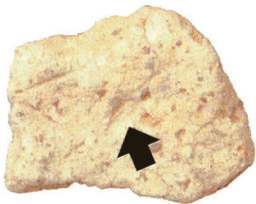
主催 福崎町教育委員会

協力 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

平成25年度特別展

福崎のくらし 米づくりと人々

米づくりから見る福崎のくらし



西田原宮山遺跡
籾の圧痕がある土器片

福崎のくらし、そこには人々のくらしとともに米づくりの歴史がありました。福崎町の西田原宮山遺跡からは、籾の圧痕がある弥生土器が出土しており、古くから稲作が行われてきたことがわかっています。

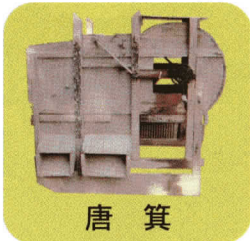
遺物のほかにも、絵馬や日誌などを通して過去を知ることができます。神社に奉納された絵馬には、豊作を祈願し、水稻農耕を題材として描いたものもあります。今日では目にする機会が少なくなった農具や手法で人々が米をつくるようす(四季の農事)が描かれています。

本展では、米づくりを中心に、くらしのなかで使用されてきた農具を展示します。農具や民具がそれぞれどのように扱われていたのか、収蔵資料や写真でご紹介します。

貴重な資料をとおして、当地域の人々のくらしを見つめてみませんか。



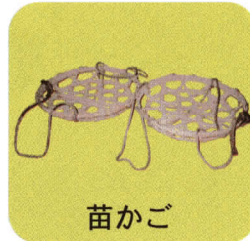
当町より出土した遺物



唐箕



草取り機



苗かご



唐竿



千歯扱き(麦用)



馬鋤



万石

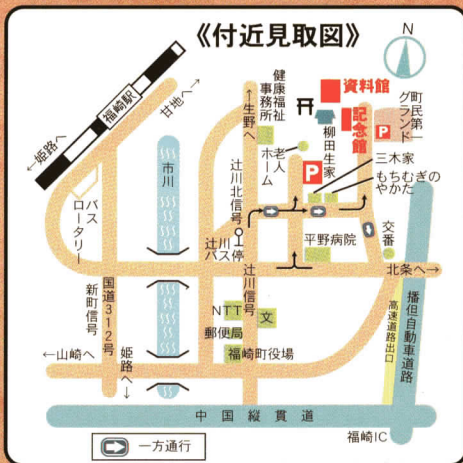


箕

米づくりにまつわる農具(当館蔵)



農業日誌/三木家文書
明治31年(1898年)



交通のご案内
電車 JR播但線「福崎駅」下車。徒歩約30分、またはタクシー。
バス 神姫バス粟賀行「辻川」バス停下車。
車 播但自動車道・中国縦貫自動車道で福崎インターより約5分、または国道312号線を利用

同時開催

柳田國男・松岡家記念館 特別展

「福崎のくらし～柳田國男が集めた民俗語彙～」

柳田國男は、民間に伝わってきた言葉である民俗語彙を全国的に集めました。民俗語彙の収集に込められた國男の思いを紹介し、どのように人々のくらしを考えようとしていたのかをお伝えします。

- ・入館料 無料
- ・お問い合わせ 柳田國男・松岡家記念館
TEL (0790)22 - 1000

10/26～11/24

福崎町子どもふるさと展

講演会のご案内

「大庄屋三木家と地域社会」

場所: 歴史民俗資料館 2階
日時: 平成25年11月9日(土) 13時30分～
講師: 山崎 善弘氏
(奈良教育大学 教育学部 特任准教授)

「柳田國男と農村の幸せ」

場所: 柳田國男・松岡家記念館 2階
日時: 平成25年11月10日(日) 13時30分～
講師: 渡部 鮎美氏
(総合研究大学院大学 学融合推進センター 特任助教)



『分類農村語彙』原稿
柳田國男・松岡家記念館蔵